

令和8年6月30日 7月号

# 枚方一中だより

日に新た 自ら学び 心豊かに たくましく

学びを深め、個性を伸ばす

校長 新保 喜和

先日の授業参観では、多くの保護者に参観していただき、ありがとうございました。

さて、6月19日のブログで、東京学芸大学 教職大学院 教授・副学長の堀田龍也氏(文部科学省 中央教育審議会委員)の講演で、生徒や保護者の方に参考となりそうなことを簡潔に次のようにお伝えしました。その続編です。

○ これからの学びに必要な視点

・ 「探究」と「基礎学力」の両立

「何を知っているか」だけでなく、「得た知識を使って何ができるか、何をしたいか」など自分の興味に基づき、問いを立てて解決する探究的な学びが、これからの学習の柱となります。これは単なる調べ学習ではなく、基礎学力を「使いこなして」自分の考えを形にする力のことです。

○ 保護者の皆様へ 家庭での見守りについて

・ 「学習のデジタル」と「娯楽のデジタル」の区別

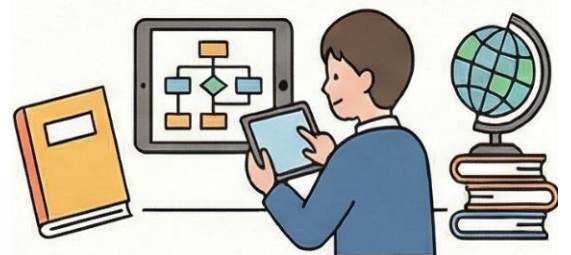
学校での端末活用は学力向上に繋がる傾向がありますが、家庭でのスマホや SNS、YouTube の長時間利用は学力にマイナスの影響を与える

というデータが出ています。家庭内での利用ルールの確立が必要です。

・ 個性を伸ばす対話を

これからの社会では(入試でも)「あなたは何をしたいのか」が問われます。子どもが何に興味を持ち、何が得意なのか、日々の対話を通じてその個性を尊重し、伸ばすことが大切です。

これからの時代は、「みんなと同じことができる」ことよりも、「自分は何に情熱を持ち、どう社会に貢献したいのか」考え、実践しようとするのが、最大の強みとなります。



## 本校での探究学習

現在、本校では総合的な学習の時間を中心に次のように各学年で探究学習を進めています。

1年生：「身の回りの課題」について

2年生：「まちづくり」について

3年生：修学旅行で訪れる「トヨタに関すること」をテーマに

2学期には、さらに一歩進んだ探究を予定しています。

1年生：「校区の課題」について

2年生：「まちづくり」に関する自分の関心に基づいたテーマを設定し、追究

3年生：「トヨタに関すること」をさらに深めた内容を1, 2年生等に発表会を実施



## 探究と個性を伸ばすことについて

探究を突き詰めていった子どもたちのモデルとして、「博士ちゃん」という私が好きなテレビ番組に出演する子どもたちがいます。

この番組には、城や戦国武将、仏像、昆虫、恐竜、鉄道、宇宙など、特定の分野に強い関心を持ち、探究し、大人顔負けの知識を持っている子どもたちが登場します。そして、彼らは、自分の興味・関心に基づいた研究やこだわりを、分かりやすく紹介してくれます。本校でも、自分の興味・関心を追求し、自分の言葉で堂々と語ることができる「博士ちゃん」が育つことを願いながら、いつもこの番組を、楽しみにしています。

ただ、すぐに「博士ちゃん」のようになることは簡単ではありません。日々の学びの中で「自分の問い」や「なぜ」を大切にし、友だちと話し合いながら考えを深めていく経験は、一人ひとりの個性を伸ばし、将来の可能性を広げる大きな土台となると考えます。そのために、学校と家庭が手を携えて、子どもたちの「好き」と「探究」を大切にしていきたいと思っています。

## さすが一中生！

先週の6月26日は、大雨警報の発令に伴い、4限目からの授業となりました。当日午前7時に警報の発表があったことから、「台風接近等による臨時休校について」の文書をブログに再掲しましたが、その後は、生徒自身がそれに従って対応してほしいとの願いから、特段の追加連絡は控えました。

その結果、通常であれば、出欠確認前の5分間に約30～50名の登校なのですが、当日は約20名と、いつもより明らかに少ない人数でした。一方で、当日のブログ閲覧者は712名と過去最高を記録しました(通常は約250名前後)。保護者のご協力もあったことと思いますが、生徒自身が積極的に確認し、行動したものと思われます。

限られた時間の中で、生徒たちが自ら「台風接近等による臨時休校について」を確認し、それに従って適切に行動できたことに、改めて頼もしさを感じました。

今後も、学校生活や家庭生活のさまざまな場面において、自分で確かめ、考え、自分の責任で行動できる一中生であってほしいと願っています。